

算数解答 5SR 2022.12

3点 × () 小計 / 30	1	(1) ①	33	1	(2) ②	104	2	
		(1) ③	12.06	3	(2) ④	2.75	4	
		(2) ア	100	5	完答	イ	950	5
		(3)	0.8	倍	6			
3点 × () 小計 / 30	2	(1)	5	個	7			
		(2)	21	cm	8			
		(3) ①	午前 10 時 18 分	9	完答	②	6	回

3点 × () 小計 / 30	3	(1) ①	0.375	小数指定	11	②	$\frac{16}{25}$	分数指定	12
		(2)	イ → ア → ウ	13					
	3点 × () 小計 / 30	4	(1)	イ, ウ, オ	順不同完答	14			
(2) ①			$\frac{14}{15}$	15	②	$\frac{7}{10}$	16		
(2) ③			$2\frac{1}{6}$ $[\frac{13}{6}]$	17	④	$\frac{11}{12}$	18		
		(3) ①	$\frac{3}{4}$	m	19	②	$1\frac{5}{6}$ $[\frac{11}{6}]$	m	20

3点 × () 小計 / 6	5	(1) ア	60	度	21		
		(1) ④	110	度	22		
4点 × () 小計 / 12		(2)	24	度	23		
		(3) ①	74	度	24	②	100

3点 × () 小計 / 6	6	(1)	3.5	kg	26				
		(2)	1800	g	27				
4点 × () 小計 / 16		(3) ①	57	日	28	②	13	日	29
		(4) ①	65	cm	30	②	858	m	31

解 説

1 (1)① $26 + 56 \div 8 = 26 + 7 = 33$

② $4 \times (53 - 9 \times 3) = 4 \times (53 - 27) = 4 \times 26 = 104$

(2) $39 \times 9.5 - 17 \times 9.5 + 78 \times 9.5 = (39 - 17 + 78) \times 9.5 = 100 \times 9.5 = 950$

(3) おもりBの重さは、 $1.2 \times 1.25 = 1.5$ (kg)だから、 $1.2 \div 1.5 = 0.8$ (倍)

2 (1) $16 = 1 \times 16 = 2 \times 8 = 4 \times 4$ より、16の約数は、小さい方から順に1, 2, 4, 8, 16の5個あります。

(2) あまりが出ないようにするから、正方形の布の1辺の長さは、105cmと147cmをとともにわり切ることができる長さです。このようになるのは、105と147の公約数の長さで、できるだけ大きな正方形にすることから、正方形の布の1辺の長さは105と147の最大公約数になります。

105の約数…1, 3, 5, 7, 15, 21, 35, 105

147の約数…1, 3, 7, 21, 49, 147

これより、105と147の最大公約数は21だから、正方形の布の1辺の長さは、21cm

(3)① ともさんは6分の倍数ごとに、たかさんは9分の倍数ごとにスタート地点を通過するから、ともさんとたかさんがスタート地点を同時に通過するのは6と9の公倍数の時間ごとになります。出発してから最初に同時に通過するのは、6と9の最小公倍数が18より18分後だから、午前10時18分です。

② 午前10時から正午までの時間は、 $12 - 10 = 2$ (時間)で、120分です。
ともさんとたかさんは18分ごとにスタート地点を同時に通過するから、 $120 \div 18 = 6$ あまり12より、6回です。

3 (1)① 分数を小数で表すには、分子を分母でわります。

$$\frac{3}{8} = 3 \div 8 = 0.375$$

② 小数は、10, 100などを分母とする分数で表すことができます。

$$0.64 = \frac{64}{100} = \frac{64 \div 4}{100 \div 4} = \frac{16}{25}$$

(2) 小数にそろえてくらべます。

$$\text{イ} : \frac{23}{30} = \frac{53}{30} = 53 \div 30 = 1.7\cdots, \text{ウ} : \frac{17}{9} = 17 \div 9 = 1.8\cdots$$

左から小さい順にならべると、1.7…, 1.8, 1.8…より、イ→ア→ウ

4 (1) アとイはこれ以上約分できない分数です。ウ, エ, オそれぞれの分数を約分すると、ウ… $\frac{12}{16} = \frac{12 \div 4}{16 \div 4} = \frac{3}{4}$, エ… $\frac{20}{32} = \frac{20 \div 4}{32 \div 4} = \frac{5}{8}$, オ… $\frac{36}{48} = \frac{36 \div 12}{48 \div 12} = \frac{3}{4}$ となります。 $\frac{6}{8}$ を約分すると、 $\frac{6}{8} = \frac{6 \div 2}{8 \div 2} = \frac{3}{4}$ だから、等しい大きさの分数はイ, ウ, オです。

(2)① $\frac{1}{3} + \frac{3}{5} = \frac{5}{15} + \frac{9}{15} = \frac{14}{15}$

② $\frac{5}{6} - \frac{2}{15} = \frac{25}{30} - \frac{4}{30} = \frac{21}{30} = \frac{7}{10}$

③ $3\frac{1}{4} - 1\frac{1}{12} = 3\frac{3}{12} - 1\frac{1}{12} = 2\frac{2}{12} = 2\frac{1}{6}$

④ $\frac{3}{5} + \frac{11}{15} - \frac{5}{12} = \frac{36}{60} + \frac{44}{60} - \frac{25}{60} = \frac{55}{60} = \frac{11}{12}$

(3)① $2\frac{1}{3} - 1\frac{7}{12} = 2\frac{4}{12} - 1\frac{7}{12} = 1\frac{6}{12} - 1\frac{7}{12} = \frac{9}{12} = \frac{3}{4}$ (m)

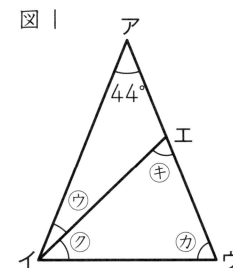
② $5\frac{3}{4} - 2\frac{1}{3} - 1\frac{7}{12} = 5\frac{9}{12} - 2\frac{4}{12} - 1\frac{7}{12} = 3\frac{5}{12} - 1\frac{7}{12} = 2\frac{7}{12} - 1\frac{7}{12} = 1\frac{10}{12} = 1\frac{5}{6}$ (m)

5 (1) ⑦ = $180 - 75 - (180 - 135) = 60$ (度)

④ = $360 - 75 - 55 - 120 = 110$ (度)

(2) 三角形アイウは二等辺三角形だから、右の図1で、 $\text{ウ} + \text{ヅ} = \text{カ} = (180 - 44) \div 2 = 68$ (度)です。また、三角形イウエは二等辺三角形だから、 $\text{キ} = \text{カ} = 68$ 度で、 $\text{ク} = 180 - 68 \times 2 = 44$ (度)です。

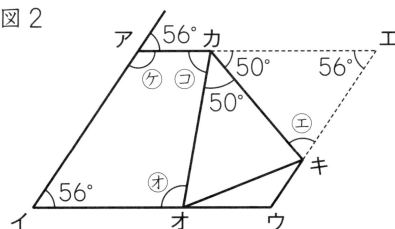
よって、 $\text{ウ} = 68 - \text{ク} = 68 - 44 = 24$ (度)



(3) 右の図を参考にして下さい。

- ① 平行四辺形の向かい合った角の大きさは等しいことと、折り返した角の大きさは等しいことから、等しい角をかきこむと、右の図2のようになります。三角形力キエで、 $\textcircled{エ} = 180 - 56 - 50 = 74$ (度)

図2



- ② 平行四辺形の向かい合った辺は平行で、平行な直線はほかの直線と等しい角度で交わるから、図2で、 $\textcircled{ケ} = 180 - 56 = 124$ (度)です。

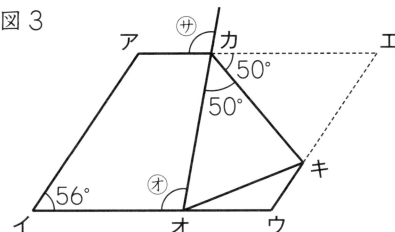
また、 $\textcircled{コ} = 180 - 50 \times 2 = 80$ (度)だから、四角形アイオカで、

$$\textcircled{オ} = 360 - 80 - 124 - 56 = 100 \text{ (度)}$$

*向かい合った角の大きさは等しいか

ら、右の図3で、 $\textcircled{サ} = 50 + 50 = 100$ (度)より、 $\textcircled{オ} = \textcircled{サ} = 100$ 度と求めてもよいです。

図3



6 (1) ^{へいきん}平均=合計÷個数です。 $(3.6 + 2.8 + 3.3 + 4.3) \div 4 = 3.5$ (kg)

(2) 合計=平均×個数です。 $4.5 \times 400 = 1800$ (g)

(3)① $11.4 \times 5 = 57$ (日)

② 2014年と2015年の2年間の雪の日数の合計は、 $17 \times 2 = 34$ (日)だから、2014年から2020年までの7年間の雪の日数の合計は、 $57 + 34 = 91$ (日)です。よって、7年間の平均は、 $91 \div 7 = 13$ (日)

(4)① $6\text{m}80\text{cm} = 680\text{cm}$, $6\text{m}25\text{cm} = 625\text{cm}$, $6\text{m}45\text{cm} = 645\text{cm}$ より、10歩歩いた3回の平均は、 $(680 + 625 + 645) \div 3 = 650$ (cm)です。

よって、1歩の平均は、 $650 \div 10 = 65$ (cm)

② $65 \times 1320 = 85800$ (cm), $85800\text{cm} = 858\text{m}$

*1320歩は10歩の $(1320 \div 10 =) 132$ 倍だから、

$650 \times 132 = 85800$ (cm) $\rightarrow 858\text{m}$ と求めてもよいです。

国語解答

1	
小計	2点 × ／16 (×)
(5)	(1)
加	まね
える	く
5	1
(6)	(2)
借	そこ
りる	
6	2
(7)	(3)
規則	ついはう
7	3
(8)	(4)
謝罪	きんいつ
8	4

2		
小計	2点 × ／12 (×)	
(5)	(3)	(1)
みずのみば	ちかよる	ねばりづよい
13	11	9
(6)	(4)	(2)
ひつかきまわす	あおじろい	はやあるき
14	12	10

3		
小計	2点 × ／12 (×)	
(2)	(1)	
②	①	①
ご	い	ア
らん	た	②
にく	だ	③
な	く	④
つ	イ	ア
て		
20	19	18
(2) ひらがな以外不可		

4			
小計	4点 × ／20 (×)	小計	2点 × ／4 (×)
(4)	(3)	(2)	(1)
ウ	B	A	②
紙	印	貴	①
を	刷	重	
支	や	な	
える	製	書	
文化	本の	物	
25	26	27	23
(2) 書きぬき			
イ	紙	を	支
ウ	を	支	える
24	25	26	27
(3) 書きぬき。完答			

(4)① (別例)「ぼくはあらしに殴られたのではないかという疑い。」
(別例)「日色の頬を嵐くんがぶったのではないかという疑い。」
・「嵐君が『ぼく』をなぐった」「『ぼく』が嵐君になぐられた」にあたる内容がないものは0点。「嵐君」は「嵐」でも可。「『ぼく』」は「日色」でも可。「なぐった・なぐられた」は「ぶった・ぶたれた」でも可。
・「(『ぼく』の) 頬」の有無は問わない。

5					
小計	4点 × ／36 (×)	減点			
(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
エ	②	①	エ	②	①
自分	イ	の	嵐	先	た
34	32			30	
ア	分	で	君	先	声
35		は	が	にあ	を
ウ	が	な	「	あそ	あ
36	ち	い	ぼ	そん	げ
ち	が	か	く	んで	た
が	つ	と	「	でい	。
33		い	を	29	28
(5) 書きぬき					
		う	な	(2) 書きぬき	(1) 書きぬき
		疑	ぐ		
		い	つ		
		。	た		
				31	

解説

1 漢字の読み書き

2 ことばの結び付き

3 敬語

(1) ①「先生」の動作を表す場面なので、相手の動作を直接敬う言い方（尊敬語）を用います。自分や身内の動作をへりくだって表すことで相手への敬意を表す言い方（謙譲語）を用いるのはふさわしくありません。「くれる・られる」「お（ご）になる」は尊敬語の形、「お（ご）する」は謙譲語の形です。

②「私」の動作なので、「持つ」の謙譲語の「お持ちする」を用います。

③「うかがう」は「来る」の謙譲語、「いらっしゃる」は尊敬語です。

④身内である「父」の動作なので、「言う」の謙譲語の「申す」を用います。

4 説明的文章（堀米薫「思い出をレスキューせよ！」より）

(2) ぼう線①の二つあとの文に、書物を長持ちさせるために「保存修復士たちが治療をおこなってき」たとあり、書物が大事にあつかわれていたことがわかります。

(3) 直後の金野さんの言葉から、「印刷や製本の技術がおとろえてしまう」ことと、「紙を支える文化もなくなってしまう」ことを金野さんが心配していることがわかります。

(4) 直前で東日本大震災の例が挙げられていることから考えます。

(5) イ「湿気などによる劣化に強く」という内容は、本文中では挙げられていません。

(6)「電子書籍化が進む今こそ、紙で作られた本の魅力をもう一度見つめなおすチャンスなのかもしれない」という最後の段落の内容に合うウが正解です。アは「紙の書物だけがくできるようになれば理想的だ」、イは「もう一度紙の製造に力を入れる必要がある」、エは「資源がむだづかいされるくよりおし進めるべきだ」が、それぞれ本文中からは読み取れません。

5 物語（いとつみく「チキン」より）

(1) 嵐君が「動揺した声をあげた」のは、「ぼく」が教室でけがをしたときで、「ごめん、わかったな。だいじょうぶか？」は、「ぼく」たちが保健室から教室に戻るまでの間に嵐君が「ぼく」に言った言葉なので、ここで場面が変わっていることがわかります。

(2) 真中さんは、嵐君が「先にあそんでいた」下級生たちをおしのけてサッカーを始めたことを指して、ルールを守らない「まちがったこと」だと言っています。

(3)「ぼく」がぼう線②のような行動をとったのは、「これ（四つ葉のクローバーのキーホルダー）は嵐君にとって大切なもの」のではないかと以前から思っていたからです。なお、キーホルダーが嵐君のおばあちゃんの形見だということを、ぼう線②の時点で「ぼく」はまだ知らないのです、ウはふさわしくありません。

(4) 美浦先生が「（『ぼく』が）嵐君に殴られたんじゃないの？」と疑っていたので、真中さんは、嵐君のかかとが「ぼく」の頬にたまたま当たったという事情を話したのです。

(6) ぼう線⑤のあとに「ちょっとほめられたくらいで人を好きになるなんて」とあるように、嵐君は、真中さんに「えらい」とほめられたことでうれしくなり、顔を真っ赤にしたのです。

(7) 嵐君は、真中さんへの好意から、真中さんともめている相手をねじ伏せています。しかし、真中さんは感謝の言葉も言わずに、「そういういいかたつてよくないと思う」と、嵐君の欠点を指摘しています。このことを受けて、「ぼく」は「よくない」と思っているのです。

(8) 真中さんに「えらい」とほめられたことで、真中さんに対する嵐君の接し方はがらりと変わっています、が、「ぼく」がそのような嵐君の性格に不安を覚えているわけではありません。